



見せて説明して下さる。でも、全く判らない。見たまは同じようでも、葉の縁がギザギザだつたり、先端が尖つてある。

“こりやー困つた”今まで、こんな見方をしたことがない。わざわざ葉っぱの裏など見たことはない。又、こんなにいっぱい一度に教えられても、物覚えの悪い私には、とても覚えられそうにない。一瞬同行したこと後に悔をおぼえる。

やがて、マイクロは八木鼻を過ぎ、目的地に着いた。
まあいいや、私は私なりに楽しませてもらおう、と腹をくくり、根曲り竹をとり、木の芽を探り、そして皆さんとトン汁を食べ……。と楽しませて頂きました。

これからも、こんな私を、よろしくお願い致します。

楽しい一日をありがとうございました

中野 彩子

「山野草をたずねる会」の活動には、今回初めて参加させて頂きました。初対面とは思えない程、皆さんには温かく受け入れて頂きました。

おしゃべりしながらの山菜採り、全員で協力しあつての食事作り。これがとても楽しく、皆さんの豊富な知識や知恵にびっくりしました。今まで見向きもしなかつた山野草が食べられることも、その調理法や味までも教えて頂き、私の山へ行く楽しみがまた増えました。帰りには収穫物のおすそ分けまで頂き、自分ではさっぱり獲れなかつたので、うれしい御土産でした。

活動内容も何も分からぬで入会したのですが、今回の参加で会の方針や活動内容も教えて頂きました。ダムを造る為に必要以上に切り壊された山を見てびっくりしました。こんな所でも自然破壊がされているなんて驚きでした。でも、地道にコツコツと自然を守る努力を続けている会員の方が大勢いらっしゃることを知り、心強さを感じ安心しました。山は本当に良いですね。言い尽された言葉ですが、この自然を子供や孫達に残し、自然の素晴らしさを味わつて欲しいと改めて感じた一日でした。

平成十二年より五ヶ年行つてきた蒼柴の森再生植樹は、

約千本の植樹目標が達成でき、本年より育樹活動を主体に

活動することにしました。

七月九日（土）新潟市、佐渡からのボランティア参加の応援を得て二十一名で除草や補植等を行い二百五十年の思いと願いをこめて育樹活動に汗を流しました。

『いのちの森再生』—蒼柴の森 育樹・植樹—



「学びの森」から習う環境のこと

野口 直意

今年ドングリハウス裏手に「学びの森」を造成し九月十日には市民参加の植樹会を行い、私たちの活動が更なる深化発展を遂げるべく環境教育の場ができました。

「学びの森」の真価が評されるのは、今後私達がそこでどのような活動を行うかという実績にかかるべきです。けつして、作り放しにすることなく、会員の手によって多彩で独創的な環境教育のプログラムが実践され、その価値を高めていきましょう。

「学びの森」には今までの「命の森づくり活動」には無い取り組みが含まれています。それはビオトープを作ったことです。森のしくみの実現に加え、湿地や水生植物育成池等も作りました。それにより観察対象は陸上植物に限定させず池ではヒツジグサ、ミズバショウは元よりタガメ、ゲンゴロウ、ヤゴ、ミズスマシ等の水生昆虫、メダカ、ドジョウ、フナ、タニシ、オタマジャクシ等の水生動物も観察対象に含めるといつた幅の広い視野で観察の場が実現したものと捉えています。

さらにもこの夏、確認できた生き物をあげるとシオカラトンボ、オニヤンマ、ギンヤンマ、イトトンボ等のトンボの類があります。またそれを狙つて野鳥も多く観察されました。鳥には疎い私ですが確認された目玉としては、カワセミも確認できました。小動物ではタヌキ、ヘビも目撃しました。昆虫類が増えたことと関連してハウ

ス内のクモの巣が目立つて多かつたよう思います。

とにかく「ドングリハウス—学びの森」の生物が飛躍的に多くなった事は間違ひありません。

自然観察は陸上植物群だけでよいという考えは人間の工ゴで、植物が可憐な花や美味しい果実を結ぶ為にはその背景にある自然の表層土復元の方法を知らねばなりません。また受粉や実生の時おおいに貢献するのは森の昆虫や獣です。しかし、森の昆虫や獣も森の水辺が汚れていてはその森を去らざるを得ません。自然が森の表層土や水辺をどうやって浄化しているのか、それを知る事は大切です。それは植物と森の生き物との関わりを理解することです。食物連鎖や共生と言う概念も理解する必要があります。そしてそれらの背景には土壤と水質浄化の自然循環システムが存在し、これこそは工コロジーそのものであり環境を学習しようと思う者は必ず習うべきテーマと考えます。何故なら今のところ食物連鎖の頂点に君臨しているのは私たち「ヒト」であり、食物連鎖は頂点にいくほど濃縮作用により環境の影響を大きく受けられるからです。浄化の自然環境システムに少々の狂いが生じる、又は狂わされた場合、自然界の弱者(微生物、昆虫、小動物)には影響が現れなくとも、覇者(猛禽類、ヒト、クジラ)には顕著に現れる可能性は充分考えられます。

そうならない為に環境には、正しい知識と現状認識を持つ事が重要で、その為にも今後「学びの森」の果すべき役割は大きいと期待します。

6月26日(日)、10月23日(日)と2回に分

け、長岡市雲出町工業団地内に「環境資源開発株」様の工場敷地内にて延べ50数名の会員と80数名の会社従業員による工場環境保全林づくりの活動を行いました。

会員の植樹意欲もさることながら、従業員皆様の自社工場の緑化は、自分達でと環境保全への意気込みには感嘆させられました。

地域の潜在自然植生構成種である、ふるさとの樹木80種、約一、一〇〇本の植樹でした。

人間と自然が豊かに共生し、生々発展していくける礎を築き、持続可能な防災生態森・いのちの森として本物の環境づくりであつたと思います。

(平成17年11月29日 新潟日報に掲載)



2005合宿研修

一福島の旅一



二五名の参加者にて、
目的地夏井川渓谷へ、樹
齢三~四〇〇年の「渓谷
のケヤキ」「馬酔木」^{アセビ}
「白雲木」^{ウニボク}などを観察

一日目

幕川温泉
(水戸屋旅館)

7月23日(土)

長岡東口駅前集合

夏井川渓谷

あぶくま洞鐘乳洞

二日目

早朝希望者による「幕
川の滝」まで散策。(帰路
道に迷う)中津川渓谷の
「ミズナラ林」にて植生
調査を行う。
晴天に恵まれ、充実し
た二日間であった。

7月24日(日)

早朝散歩(幕川の滝)

中津川渓谷
(ミズナラ林観察)
旅館

五色沼
道の駅
長岡東口駅前解散



森の記憶

小千谷市 佐川 通

四十年ぶりに出身地福島の森の風景を楽しんだ。
鮮やかな深緑、激しい滝の音、地底の静寂、そして
たくさんのシニアの方々との出会い。なぜか懐かし
くまた互いの所作に自分の姿を重ねあわせて納得の
いく旅だつた。
森に入ると、これがあつたから私達は今日の幸せ
があるのでと思った。大和朝廷が誕生した頃、関東
以北は蝦夷地域だつた。森と一緒に暮らしていた縄
文人は、一万年も文化を保ち続けた。「いのち」の
「つながり」を生かす文化を、縄文人たちは、どの
ような教育で祖先から家族や子孫へ、ムラから住居
へ伝えたのだろうか。考えるとわくわくしてくる。
平成十一年六月。十日町市の笛山ムラから出土し
た縄文火焰土器の九二八点が国宝に指定された。さ
らに今、その縄文遺跡群を、世界遺跡にしようとい
う声が上がつてゐる。四三〇〇年前に妙高山が大噴
火して、縄文人の生活舞台は、降灰と泥流れによつ
て大地に眠つてしまつた。当時のご先祖様の私物な
ものは少ないが、精神性は依代(よりしろ)となつ
て、いろいろな形に現れてゐる。今後の調査研究に
待つものが多いが、縄文スピリッツの記憶を、どの
ようなコンセプトで蘇らせるかが重要である。
考古学的な研究、産業振興、技術伝承も大事だが、
その域に止まつていたのでは勿体ない。縄文人は、や
尾瀬・越後・福島の山々の水を生かして、信濃川や
阿賀野川の中・上流に火炎文化の華を咲かせた。十
日町・南中は、十年前に小日向理事長の指導を受け
て地域の潜在自然植生からなる「南の森」を創つた。
生徒と教師、父母・地域の手による「人間形成」、
「コミュニティづくり」の森である。その後は、い
ま韓国や世界の森につながつてゐる。森の記憶はそれを創る人間の姿でもある。

千年の森ーみんなでつくるふるさとの森

ーいのちの森再生八方台育樹・植樹ー



あ、津南!! 久しぶりに行きたい。
初めての茸採り。参加者は、理事長以
下運転手さんも含めて、総勢十八名。
曇り空の下、一路津南へ。途中で割
安な花を購入したり、収穫後の放置さ
れたトマトをちゃっかり戴いたり。
到着後、集合時刻等を聞くや、思
いの場所に散つて茸採りに専念。仲
間の声が聞こえる範囲で、あまんだけ
心中に籠へ。忽ちにいっぱいとなる。
日々才の午前の部の収穫だった。
採つた珍しい茸の名前など教えて貰
い、茸入りの美味しい豚汁に舌鼓を打つ。
楽しい昼食も瞬く間に過ぎ、午後の
部へと勇躍、出発。

黄金色に輝く茸を見つけたときの声。
「お嬢様どうぞ」の呼び声に誰のこと
かと思いきや何と私らしい。高鳴る期
待に胸を躍らせ、丁寧に採つて袋へ。あ
とは只、仲間に遅れまいと縦横無尽に
張つた木の根元をかいくぐり、またぎ、
踏み越し、時に堂々巡りもしつつエア
ロビも頬負けの奮闘ぶり。普段使わな
い筋肉をフル稼働する強行軍。バスが
見える場所について心底ほつと一安心。
期待の「黄金茸?」は、先生の鑑定で、
『笑い茸』と判明し、ガツクリ。宝物
もたちまち色
あせて即おさ
らば。
疲れだが、
土産いっぱい
思い出もいっぱい
充実した
楽しい茸採り
だつた。



(企業・団体)		名前	住所
株式会社 帆船業 総本店	渡辺 誠悟	川崎	
長岡 法人会	吉岡 彰一	希望が丘南	
栗田 朝子	吉岡 和子	要町	
亀山 松雄	渡辺 徹夫	東坂之上	
関咲子	佐藤 貞子	上越市	
(協賛会員)	小林 昭爾	大積	
株式会社	土合 浩浦	坂之上	
株式会社 丸久ユニアーム	栗田 朝子	新潟市	
金井 度量衡 株	喜多町	表町	
日栄分店 (割烹)	坂之上	袋町	
中越環境開発 株	新潟市		
株式会社 布川ハウス	関原 関原	与板	
越後与板日々の会			

自採りに参加して

渡邊 薫

ようこそ

新入会員名簿

